

(別紙)

令和5年 丹波の森もりびと賞 受賞者一覧

区分	受賞者名	代表者	住所	主な活動内容
1	一般社団法人 みつおおじ	代表理事 田村正一	丹波市春日町松森	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市春日町大路地区を中心に、地域課題の解決、地域活性化を目的として活動 ・都市部住民との交流、ファーマーズマーケットの開催、大学連携と学生との交流、空き家対策と移住者交流など
2	特定非営利活動法人 バイオマス丹波篠山	理事長 高橋隆治	丹波篠山市垣屋	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の里山利用から持続可能な社会づくりをめざし、低炭素社会の仕組み構築や人づくり ・小学生向け森林活動教育、流域連携、森の遊び場運営、丹波篠山木の駅後援、木質バイオマス生産（薪、ペレット）、人工林間伐事業など
3	特定非営利活動法人 里地里山問題研究所	代表理事 鈴木克哉	丹波篠山市味間新	<ul style="list-style-type: none"> ・「獣がい対策で農村の未来を創る」を理念に、3つの活動指針①「地域の方々に対して”地域の夢のお手伝い” ②「支えていただく皆様へ”喜びをわかちあうあたたかい人の繋がりを広げる” ③”多様な人材参画によるCo-Creation(共創)の促進” ・地域の「獣がい対策」支援、「関係人口」の創出拡大など
4	平松区森林愛好会	代表 伊藤忠嘉	丹波市春日町平松	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の「多面的機能」発揮に向けて、地域住民や森林所有者を巻き込み「森林を整備」「森林を活用」「森林資源を利用する」「森林を育てる」等を共有し、協働できる関係を構築 ・大径木、支障竹木の伐採や人工林の間伐、森林資源の木材チップ、薪、竹チップ、椎茸ほだ木、生ごみ処理コンポスト「きえたん」材料として活用など ・市外の団体との協働作業等の交流